資料1

令和5年度　相談支援部会について

１　開催予定日時

奇数月の木曜日 15時～開催　いずれも対面予定

第1回目開催予定　令和5年5月25日(木)

第2回目以降　　　　令和5年7月20日（木）、9月14日（木）、11月16日（木）

令和6年１月１1日(木)、３月14日(木)

２　令和4年度の議事の振り返り

●平成26年度末に作成した日野市における地域の課題整理をした「地域で生活するために」について、

作成から時間が経っていること、令和元年度の事例検討を行う中で、新たな課題や当時の状況の変化

とともに見直しの必要があるということから、令和2年度より協議を継続してきた。

●令和４年度は、コロナ禍の中だがZOOMでの開催１回、対面での開催5回の合計6回協議を行うことができた。対面での協議が多くできたことで、今まで行ってきた「地域で生活するために」の見直しが進み、 視覚的にもわかりやすい形でまとめることができた。（※別紙参照）

●令和４年度の部会運営を踏まえ、令和５年度以降の運営方法や開催内容についてのアンケートを実施。参加者の今後の展望の吸い上げを行った。

【開催日と内容】

　令和４年5月１８日(水)１５時から１７時　ZOOM開催

　　・令和４年度の役割決め

　　・令和４年度の部会の方針について

　　・「地域で生活するために」見直し

 令和4年7月19日(木)　 １５時から１７時　対面開催

　・成年後見制度の紹介

　・令和4年度第1回自立支援協議会の報告

　・「地域で生活するために」グループワーク①　～今まで出た課題の分類分け～

 令和4年9月26日(月)　 １５時から１７時　対面開催

　　・「地域で生活するために」グループワーク②　～中心課題の捻出～

　令和4年11月10日(木)　 １５時から１７時　対面開催

　　・「地域で生活するために」グループワーク③　～中心課題を取り巻く課題の抽出～

　令和5年1月12日(木)　 １５時から１７時　対面開催

　　・「地域で生活するために」最終まとめ

　　・アンケート結果をもとに次年度の相談支援部会の運営についての確認。(運営方法や日程)

　　・障害者計画等の改定について

　令和5年3月23日(木)　１５時から１７時　対面開催

・令和５年度の相談支援部会のメンバーの確認

　 ・自立支援協議会の報告

　 ・「地域で生活するために」の確定版の完成

　裏面あり

３　令和5年度　相談支援部会についての主な検討事項（予定）

●令和4年度に引き続き、部会を相談支援事業所等の協議の場とする。事務局を座長、副座長に加えサブ2名とし、4名体制で運営する。

●令和5年度より、市内の相談支援事業所の参加を募ることとした。あらたに5事業所が参加予定。事業所同士のさらなる繋がりの場としての役割と、これまで以上に広い視点での協議が期待される。

【内容】

（１）「地域で生活するために」のまとめから見えてきた課題を元にしたグループワーク

令和４年度でまとめた「地域で生活するために」から、課題をピックアップしてグループワーク形式で課題解決に向けた解決策の検討を行う。

また、実際の事例をもとにした事例検討を行い、課題解決へ向けた議論、各事業所の持つノウハウを

共有し、解決へのヒントを見いだせるような会とする。

（２）情報の交換及び共有を図る

　　　　各事業所の活動や行事、相談支援のあり方等について、情報の交換及び共有を図る。

また、困難ケースについての意見交換のみでなく成功事例の共有も行っていくことで支援方法の

共有を行う。合わせて、災害や感染症対策等のリアルタイムな話題についても意見交換し、市内全体の実状について理解を深める。

令和５年度は新たな事業所が加わることもあり、市内の相談支援事業所の横のつながりを深め、部会以外の場でも事業所同士が連携し意見交換できるような関係作りができる場としていきたい。

（３）事例検討

令和４年度は「地域で生活するために」のまとめを一番の目標にグループワークを行ってきたため、事例検討を行えなかった。

　　　　　令和５年度は令和４年度でまとめた「地域で生活するために」を元に事例検討を行いたい。

　　　　　現在部会への参加は原則として一人としているが、各事業所から複数名での参加ができるような事例検討会の実施の検討も行い、今まで部会に参加できなかった人も参加して各事業所のノウハウを共有できる場としての開催方法も検討している。

（４）研修会

　　　 コロナ禍であること、「地域で生活するために」のまとめに専念したため令和４年度は未実施。

　　　　令和５年度は「地域で生活するために」から実際に課題解決に向けた検討を中心に行い、　課題検討していく中で、令和６年度以降で研修会の実施について内容、開催方法含め検討する。